

東京都立松が谷高等学校 令和4年度年間授業計画

教科:(国語)科目:(必修選択古典B) 対象:(第2学年1・2・3・5・6・7組)

使用教科書:『改訂版 古典B』(第一学習社)

使用教材:読解を大切に体系古典文法九訂版(数研出版) 体系漢文改訂版(数研出版) 三訂版プログレス古典総演習(いっずな書店) 新訂国語総合ガイド五訂版(京都書房)

体系漢文学習ノート(数研出版)

読解を大切に体系古典文法学習ノート三訂版 『つながる・まとまる古文単語500PLUS』(いっずな書店)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習や復習をしやすいようなノートを作ることができる。</li> <li>一学年で学習した文法・活用などを理解できる。</li> </ul>	定期考査 教材に関わる提出物	1
	沙石集 「歌ゆるに命を失ふ事」	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に音読できる。</li> <li>作品に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解できる。</li> <li>係り結びなどの文法的な約束が理解できる。</li> <li>文脈の中で助動詞の果たす役割が理解できる。</li> <li>説話の登場人物の心情等を理解できる。</li> </ul>	小テスト ノート・ワーク提出	6
5月	漢文「推敲」 「呉越同舟」 「知音」	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓点に従って正確に読むことができる。</li> <li>文の構造や句法を把握し、文脈を読み取ることができる。</li> <li>故事成語の成り立ちや現代の意味・用法などを理解し、日常生活の出来事と結び付けて考えることができる。</li> </ul>		2
	古文 随筆(一) 徒然草 「久しく隔たりて会ひたる人の」 「あだし野の露消ゆるときなく」	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に音読できる。</li> <li>作品に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解できる。</li> <li>文脈の中で助動詞の果たす役割、文法事項などが理解できる。</li> <li>作者の思想・考え方が理解できる。</li> </ul>		4
	考査返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を再確認し、学習内内容を定着する。</li> <li>自分の学習法を再点検する。</li> </ul>		1
6月	漢文 古代の史話 「鼓腹撃壤」 「莫敢飾詐」	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓点に従って正確に読むことができる。</li> <li>文の構造や句法を把握し、文脈を読み取ることができる。</li> <li>古代の人々の物の見方、考え方がどのようなものか理解できる。</li> <li>史伝の簡潔な表現や、そこに用いられている故事成語などを理解することができる。</li> </ul>		3
	古文 物語(一) 伊勢物語 「初冠」 「通い路の関守」 「小野の雪」	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に音読できる。</li> <li>作品に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解できる。</li> <li>文脈の中で助動詞の果たす役割、文法事項などが理解できる。</li> <li>歌物語の中で歌の果たす役割が理解できる。</li> <li>登場人物の人間関係を理解できる。</li> <li>作品の古典作品中における意義を理解できる。</li> <li>作者の人物像をとらえる。</li> </ul>		9
	考査返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を再確認し、学習内内容を定着する。</li> <li>自分の学習法を再点検する。</li> </ul>		1
7月	古文 物語(一) 竹取物語 「かぐや姫の昇天」	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期仮名散文の文章の特色とその魅力を理解する。</li> <li>物語の登場人物の言動と心の動きがどのように表現されているか読み取ることができる。</li> <li>敬語の用法について理解できる。</li> </ul>		5
8月				
9月	古文 随筆(二) 枕草子 「春は、あけぼの」「すさまじきもの」 「木の花け」	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確に音読できる。</li> <li>作品に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解できる。</li> <li>文脈の中で助動詞の果たす役割、文法事項などが理解できる。</li> </ul>		3
	漢文 名家の文章 「雑説」 「黔の驢」 「売油翁」	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓点に従って正確に読むことができる。</li> <li>文の構造や句法を把握し、文脈を読み取ることができる。</li> <li>古代中国人のものの考え方を理解できる。</li> <li>作品の内容における中国の思想、時代の影響を考えることができる。</li> </ul>		4

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
10 月	古文 物語(二) 源氏物語 「桐壺」 「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確に音読できる。</li> <li>・作品に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解できる。</li> <li>・文脈の中で助動詞の果たす役割、文法事項などが理解できる。</li> <li>・敬語表現とともに登場人物の人間関係を理解できる。</li> <li>・歴史的事項、人物が文学の中でどのように反映されているかを理解できる。</li> </ul>		8
	考査返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を再確認し、学習内内容を定着する。</li> <li>・自分の学習法を再点検する。</li> </ul>		1
11 月	漢文 漢詩の鑑賞 中国の詩 「独座敬亭山」 「九月九日憶山東兄弟」 「除夜寄弟妹」 「江村」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近体詩の形式及び内容について理解する。</li> <li>・漢詩の表現技法について理解する。</li> <li>・時代背景を念頭に置いて読むことができる。</li> <li>・詩に込められた作者の思い(主題)を読み取ることができる。</li> </ul>		12
12 月	古文 日記 更級日記 「門出」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確に音読できる。</li> <li>・作品に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解できる。</li> <li>・文脈の中で助動詞の果たす役割、文法事項などが理解できる。</li> <li>・敬語表現とともに登場人物の人間関係を理解できる。</li> <li>・物語とは異なる日記文学の特徴を理解することができる。</li> <li>・作者の心情を味わい、その人生を追体験することで日記文学の面白さを味わうことができる。</li> </ul>		2
	考査返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を再確認し、学習内内容を定着する。</li> <li>・自分の学習法を再点検する。</li> </ul>		1
1 月	漢文 儒家の思想 論語 「修養」 「学問」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓点に従って正確に読むことが出来る。</li> <li>・文の構造や句法を把握し、文脈を読み取ることが出来る。</li> <li>・日本人の考え方に大きな影響を与えている儒教の考え方を理解することができる。</li> <li>・孔子、孟子の物の見方、考え方を理解できる。</li> </ul>		6
2 月	史記 「項羽と劉邦」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓点に従って正確に読むことが出来る。</li> <li>・文の構造や句法を把握し、文脈を読み取ることが出来る。</li> <li>・人物像をいきいきと感じ取ることができる</li> </ul>		4
	古文 物語(三) 平家物語 「忠度の都落ち」 「能登殿の最期」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確に音読できる。</li> <li>・作品に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解できる。</li> <li>・文脈の中で助動詞の果たす役割、文法事項などが理解できる。</li> <li>・敬語表現とともに登場人物の人間関係を理解できる。</li> <li>・和漢混交文体の韻律や特殊な語彙に注意して正しく意味を理解することができる。</li> <li>・諸行無常、盛者必衰の思想を作品がどのように具現化しているか理解することができる。</li> </ul>		8
3 月	考査返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を再確認し、学習内内容を定着する。</li> <li>・自分の学習法を再点検する。</li> </ul>		1
	総合演習問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二学年で学習したことを演習問題の中で活用できる。</li> <li>・教科書以外のできるだけ多くの作品にも触れる。</li> </ul>		2